

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

| | | | | |
|----------------|------------|-----|--------|------------|
| ○事業所名 | こども広場ちくたく | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月17日 | | ～ | 2026年2月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 2家庭 | (回答者数) | 2家庭 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月17日 | | ～ | 2026年2月27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) | 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | お子様の現状や課題などを把握し、成長・変化に合わせた支援計画の作成、見直しを適宜行っている。 | 小さな変化を見逃さないよう日々の朝夕礼で情報共有し支援を行っている。現状や発達の状況に応じて適宜アセスメント、モニタリングを実施し計画に反映させている。 | 児童発達支援管理責任者を中心として、より良い支援とは何かを常に考え、お子様の成長や日々の様子に合わせた療育、支援を実施していく。 研修参加など職員のスキルアップを行いながら支援の質を高めていく。 |
| 2 | イラストレーターを招いてアートセラピーを行うなど活動に特色を持たせ、個々に合わせた内容にする事で色彩や表現豊かな絵を描けるように成長している。 | 職員だけでなく外部講師を招くなど事業所の特色を持たせた活動内容を企画して実施している。 | 成長しているお子様が多くいるので、今後も色々な活動を企画・実施していく。 |
| 3 | 保育士・児童指導員(経験5年以上)が中心となり、専門的支援を実施している。 | お子様の課題やその日の様子を見ながら組み合わせを考え、個別・小集団(5名以下)で活動する時間を設けている。 | 職員間で情報共有や振り返りを行い、より専門的な支援につなげていく。 研修等に参加し、職員の専門性を高めていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 幼稚園・保育所・児童クラブや地域のこどもと関わりを持つ機会が持てていない。 | それぞれの機関の活動時間、内容などが異なり時間が合わせにくい事、事業所を利用しているお子様が新しい場所や人など環境の変化により負担が掛かったり不穏になってしまう可能性を考慮した中で現状交流の実施には至っていない。 | お子様の特性などを考慮しながら交流の必要性について検討していく。 |
| 2 | 契約時、計画説明時に各種マニュアルの説明は行っているが、各種訓練の実施内容など詳細まで周知しきれていない。 | マニュアルを策定し訓練を実施しているが、訓練の詳細など保護者様への説明、報告方法が不十分だった。 | 送迎時や連絡帳でお伝えする他に必要に応じてお知らせを配布し訓練、実施内容についての説明を行っていく。 安全計画がホームページに掲載されている事を周知していく。 |
| 3 | 事業所主催で保護者様向けの研修が実施できていない。 | 開催日時、内容など実施へ向けての取り組みが出来ていない。 | 市町村や関係機関から保護者様向けの研修があれば周知していく。 事業所主催の研修の実施について検討していく。 |